

努力に勝る才能はない

☑ 県総文・総体が終わりました

平成30年度の県総文・総体が、先日の3日に終了しました。北信越大会など上位大会の切符を手にした方々、おめでとうございます。県代表として胸を張って戦ってきてください。残念ながら、県大会で終えた皆さん、お疲れ様でした。今、振り返って高校での部活動はいかがでしたか。楽しかったこと、つらかったことすべてが人生の宝物になるはずですよ。それだけではなく、部活で苦労した経験は、社会に出てから大いに役立つことでしょう。3年までやり通したことは、本当に「尊いこと」なのです。

☑ 次のステップに進むために

部活動にも区切りをつけ、いよいよ3年間の総仕上げの時期に突入しました。
絶対、ぼんやりした時間を過ごさないこと。1日1日をとても貴重だと思うこと。

- まずは、1日の中で、これまで部活動に費やしていた時間をどう使いますか。
少なくとも、この時間は100%進路実現のために使うこと。
- 進路実現のために、どれだけの努力が必要なかを把握していますか。
現時点で、目標に対して自分の実力がどれだけ不足かをつかめば、「伸びしろのターゲット」が明らかになります。今、何をしなくてはならないか、迷いはなくなるはず。
- そもそも、「合格」「採用」までのスケジュールを把握していますか。
逆算して、いつまでに何ができるようになっておかななくてはいけないか、そのスケジュールに則って緻密な準備を進めてください。
- 身なりは、行動は、言葉遣いは高3生らしいですか。
そもそも、これらは面接指導で身につけるものではありません。寸前にトレーニングしてきたものは、人事のプロの目をごまかすことなどできません。
- 推薦入試にチャレンジする意味は何か。
NGパターンは・・・「早く決めて楽になりたい」
「この学校に何が何でも入りたい」というモチベーションなしに、面談で話ができますか。
面接試験は、しゃべるのが上手ならうまくいくわけではないのです。自分が、入学して深く学びたいと考えていることについて、どれだけの知識を持っていて、どれだけのことを思考してきたかを論理的に話せることが求められるのです。それだけのことができるようになるために、どんな準備をどれだけの時間をかけてやればよいと思いますか。
- 一般入試で勝負しようとして心に誓った人たちは
3月末までが勝負期間です。最後の最後まで走りきる、という気持ちを切らさないこと。自分の可能性を信じて前進してください。

♥これらのことを、自分一人で管理するのは大変だ、と感じた人は、不安がらずに、担任や進路課の先生に相談に乗ってもらいながら前に進んでいきましょう。 (学年主任 石田)